

ケーブルコンベンション 2021 関連イベント 「ケーブル技術ショー 2021」 Cable Tech Show 2021

一般社団法人日本CATV技術協会（理事長 内田 茂之）は、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人衛星放送協会とともに、本年6月3日（木）・4日（金）にケーブルコンベンション 2021 関連イベントの「ケーブル技術ショー2021」を開催。また、6月14日（月）から7月30日（金）の1.5か月間、WEBを活用したオンライン展示会をハイブリッドで開催。

本展では、技術展示会が東京国際フォーラムホールEにて開催され、また、オンライン展示会がケーブル技術ショー公式ウェブサイトにて7月30日（金）まで開催している。

【主催】（一社）日本CATV技術協会／（一社）日本ケーブルテレビ連盟／（一社）衛星放送協会
【後援】総務省

【特別協賛】（一社）日本ケーブルラボ／ケーブルテレビ無線利活用促進協議会／（一社）日本コミュニティ放送協会（順不同）

【協賛】情報通信月間推進協議会

【特別協力】NHK／（一社）日本民間放送連盟／（一社）放送サービス高度化推進協会

【協力】日本テレビ放送網（株）／（株）TBSテレビ／（株）フジテレビジョン／（株）テレビ朝日／（株）テレビ東京／毎日新聞社／読売新聞社／日本経済新聞社／産業経済新聞社／東京新聞／共同通信社／時事通信社／（一社）日本経済団体連合会／（一社）電子情報技術産業協会／（一社）電波産業会／（一社）電気通信事業者協会／（一社）テレコムサービス協会／（一社）日本インターネットプロバイダー協会／（一社）コンピュータエンターテインメント協

会／（一財）全国地域情報化推進協会／（一財）電波技術協会

◇2021年の本展の特長◇

ケーブル技術ショー2021のコンセプト
Society5.0（超スマート社会）の実現に向けた技術の進歩や年々増加する自然災害の猛威など、社会を取り巻く環境はかつてない規模と速度で急変している。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人々は新しい生活様式の定着化を求められるようになった。働き方改革や教育の現場、医療や消費スタイルに至るまで、2021年は社会が大きく変わる「ニューノーマル時代」を迎える。

ケーブルテレビのサービス・技術においても、近年、「放送と通信の融合」により市場は劇的に変化してきた。そして、ニューノーマル時代の到来に向けてオンライン化が加速する中、地域BWAやローカル5Gの導入による「ケーブルと無線の融合」が推進し、ケーブルテレビ事業は、新しい地域社会の構築に向けた社会インフラとして、ますます重要な役割を担っていくこととなる。

ケーブル技術ショー2021では、開催コンセプトを「新価値創造 Cable New Normal～ケーブル事業の新たな挑戦～」とし、ケーブル業界全体を活性化させるべく、ウィズ・コロナ時代の新しい展示会方式として、会場での技術展示会とオンラインでの展示会のハイブリッド開催を行い、またケーブルコンベンション2021も同時に開催を行い、ケーブル事業者ほか関係者が一堂に集うまとまない機会となった。

様々な施策の展開

出展エリアは来場者が限られた時間の中で効率的に目的の分野、出展者を訪問できるように、出展分野ごとに展示エリアを
A プラットフォーム・総合
B ヘッドエンド系・受信端末・伝送系
C ソフト・制作系・CPS/IoT・部品等の3グループに分けて行った。（下図参照）

◇主催者テーマ展示◇

主催者テーマ展示概要

「ケーブル技術が創る未来タウン」と題して、放送と通信の融合、有線と無線の融合による、防災・減災ソリューションやCPS/IoTソリューションほか、最新の技術による次世代ケーブルサービスの姿、動向をわかりやすく発信。

■AI字幕×ハイコネ（協力：IPTVフォーラム）

総務省は「放送分野における情報アクセシビリティに関する指針」を策定し、放送事業者による字幕放送への取り組みを促している。

キー局はリアルタイムで字幕を打ち込むオペレータ等により対応を進めてはいるものの、人員的にも設備的にも厳しいローカル局はどうすればいいでしょう？

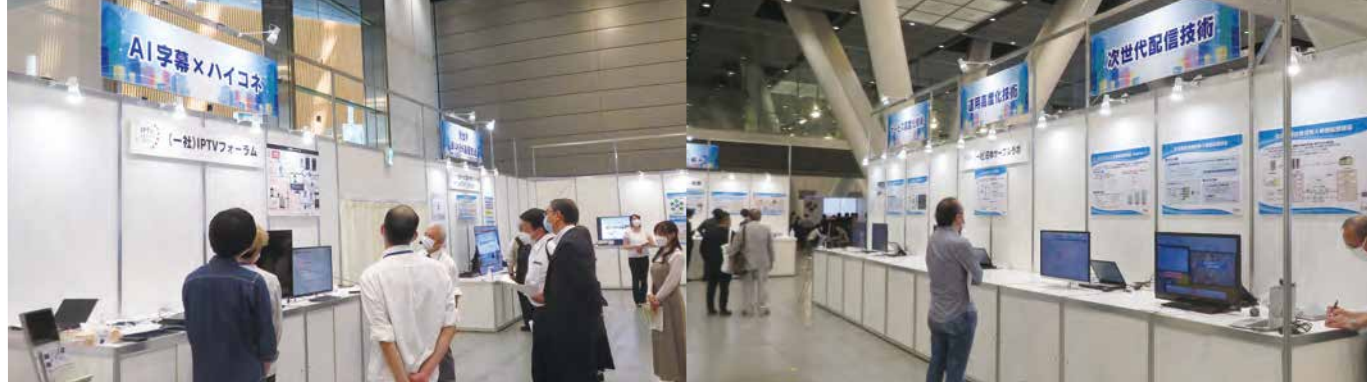
当ブースではAIによるリアルタイム自動字幕システムと、IPTVフォーラムが推進しているハイコネを用いた「聴覚障がい者に優しい字幕表示」についての説明を行った。



<https://www.catv-f.com/>



様々な施策の展開



主催者テーマ展示スペース

■①次世代配信技術 ②運用高度化技術 ③サービス高度化技術 (協力:日本ケーブルラボ)

映像配信、運用保守、サービスに関する5つの次世代ケーブル技術を展示。番組視聴率や回線状況等に応じて配信方式(RF/IP)と映像解像度(4K/HD/SD)を自動切換しケーブル回線の利用効率を高める放送通信自動切換技術と、ローカル5Gにて多チャンネル映像配信するための適応型MBMS技術を検証するためのシミュレータ、拡大する宅内Wi-Fiの利用に対してユーザーサービスの向上・保守費削減を実現するACSによる宅内Wi-Fiリモート保守、さらにACSベンダー毎に異なるSTB視聴ログデータをETL(抽出→変換→格納)により1つのフォーマットに整形・統合可能なデータ管理基盤(DMP)と、地デジコミキャストによる地域に密着したハイブリッドキャストサービスについて、動態デモを含め紹介。

■別世界!新4K8K衛星放送(協力:放送サービス高度化推進協会(A-PAB)/日本CATV技術協会)

新4K8K衛星放送は2018年12月1日から本放送を開始し、すでに視聴可能な受信機器台数は828万台を突破した。(2021年3月末時点)

当ブースでは、新4K8K衛星放送の電波漏洩対策や助成金制度等について解説。

新4K8K衛星放送では、BS・110度CS放送の左旋電波(2224-3224MHz)を利用するため、遮蔽性能の低い機器を使用していると、機器からの電波漏洩により他の無線サービスへ妨害を与えたり、新4K8K衛星放送が映らなくなる場合がある。

どのような機器を使用すれば新4K8K衛星放送を安定受信し、電波漏洩を防止できるのか、実機展示を交えて電波漏洩対策に関わる助成金制度等を紹介。

■無線活用戦略とローカル5Gへの取り組み(協力:日本ケーブルテレビ連盟)

近年、急速なデジタル化や感染症拡大による新しい生活様式の普及が進んでいる。それに呼応するかのように通信サービス市場において固定系サービス、移動帯サービ

スの融合が始まろうとしている。そのような中、ケーブルテレビ業界にとっても、今まで以上に無線サービスの重要性が高まっている。ケーブルテレビ連盟では無線利活用委員会にて戦略を策定し、着実に無線利活用を推進している。今回の展示においては戦略の概要を示すとともに、2.5GHz帯の地域BWAやMVNO事業の推進とローカル5Gの在り方、ケーブルテレビ事業者のローカル5Gの取り組み、業界統一コアで使用する設備と端末等についての紹介を行った。

◇テーマ別動画ツアー◇

テーマ別動画ツアー概要

技術展示会にて出展者が発表・展示した最新の製品・サービスをテーマに沿って動画紹介し、オンライン上でワンクリックでブースを巡るツアー。

■主催者テーマ展示ツアー:訪問ブース: IPTVフォーラム/日本ケーブルテレビ連盟/日本ケーブルラボ/放送サービス高度化推進協会・日本CATV技術協会

■4K・8Kケーブル技術関連ツアー:訪問ブース:アイベックステクノロジー/イメージニクス/ジャパンケーブルキャスト/住友電気工業/古河電気工業/ミハル通信

■次世代高速通信・大容量化関連ツアー:訪問ブース:NEC ネットエスアイ/シンクレイヤ/住友電気工業/大電/古河電気工業

■防災・減災、地方創生関連ツアー:訪問ブース:NEC ネットエスアイ/ジャパンケーブルキャスト/住友電気工業/THK/データロード/日本アンテナ/日本ソフト開発

◇オンライン テックセミナー◇

ケーブル技術ショー2021 オンライン展示会では、主催者・協力団体および出展者がユーザーに向けたオンライン テックセミナー(技術セミナー)を公開。ケーブル技術業界の動向や各企業の最新技術・ソリューションを紹介。

■第1弾 公開:主催者・協力団体セミナー ローカル5Gの動向と今後の応用

(国立研究開発法人情報通信研究機構 ネットワーク研究所 松村 武氏)

■米国CATV業界における新たなサービスと技術

(SVP and CTO, SCTE・ISBE Chris Bastian氏)

■「新4K8K衛星放送の現状と電波漏洩対策助成金制度」について

((一社)放送サービス高度化推進協会 4K8K推進センター部長 伊東 良展氏)

■第2弾 公開:出展者セミナー

ローカル5Gの導入課題と課題解決へのアンリツの貢献(アンリツ 計測器営業本部 第一営業推進部 柳川 弘篤氏)

高速通信時代の到来「ローカル5GとFTTH10G-PON」(伊藤忠ケーブルシステム CATV・ネットワークシステム部 営業課 今野 優太氏)

NEC ネットエスアイの地域DX実現への取り組みをご紹介(NEC ネットエスアイ ビジネスデザイン統括本部 デジタルタウン推進本部 久留 龍二氏/ネットワークインフラ事業本部 社会公共ソリューション事業部 奥山 隆氏/ネットワークインフラ事業本部 ネットワークインフラ販売推進本部 福井 恵氏)

ケーブルテレビ事業者様のお困りごとを解決するパナソニック新4K-STBソリューション(パナソニック システムソリューションズ ジャパン STB ネットワークビジネスユニット 商品技術部 部長 岩本卓紀氏/システム技術部 宮崎 貴史氏) ケーブルテレビ通信インフラの次の一手~地域DXを支えるローカル5Gの取り組みと活用事例~(富士通ネットワークソリューションズ 公共・西日本事業本部 本部長代理 塚越 寿夫氏/公共・西日本事業本部 シニアマネージャー 新庄 啓聡氏)

▶オンライン展示会の見方

<https://www.catv-f.com/howto/>

